

令和7年度

けやき小学校

地域とともにある学校づくり
5年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： わたしたちの地球：守ろう、つなごう西東京市の自然
(活動名)

ねらい：

- 地域社会の課題について理解を深め、よりよい地域社会との関わり方に気付く。
- 目的に応じ、情報を集め、整理・分析し、自分の考えをもつことができる。
- 自分の考えを目的や相手に応じてまとめ、わかりやすく表現することができる。
- 課題の解決に向け、友達や地域の人と主体的・協働的に学習に取り組む。



【5月～】

教室での話し合いを通して西東京市の自然や生き物についてイメージを広げ、興味や疑問をもちました。

その上で、国から緑綬褒章を受けた「西原自然公園を育成する会」の方の話を聞き、西東京市の自然について理解を深めることができました。



【6月～】

「雑木林の自然が、西東京に昔はもっとあった」ことを聞き、学区域にある多摩六都科学館の学芸員さん

にも話を聞きました。学芸員さんの話から、西東京の自然の過去と現在の姿を知り、身近な自然を守り育てる意識を高めていくことの大切さに気付きました。

【10月～】

身近な自然や生き物に対して理解を深め、自分たちにできることを考える中で、「生物多様性」を西東京市内の個人宅の庭（名称：オーズガーデン）で実現している方に話を聞きました。自分たちにもできそうな工夫をすると、生き物が安心して過ごす環境づくりができることを知りました。生き物が少ないけやき小の池を、生き物が安心して暮らせる「本当のビオトープ」にしたいと活動を始め、メダカ、エビ、タニシなどを放流しました。



まとめ

5年生の学習の大テーマ「地球の環境」は児童が身近な課題として捉えることは難しいため、もっと「自分事」になるように、地域の自然に目を向けることから始めました。地元の自然の様子や課題について知るために、実際に活動する団体や専門家をゲストティーチャーとして招き、地域の環境への興味・関心を深めました。けやき小の池をより良いものにしようと、自分たちで調べたりオーズガーデンの方の協力を得たりしながら、生き物を放流し全校朝会やポスターで他学年にも協力を呼びかけました。